



我孫子の歴史建物まちづくりバスツアー

平成 24 年 9 月 26 日 (水) 参加費無料 (昼食代は各自)

集合 = 8:00 安房自然村 8:05 平砂浦ふれあいショップ 8:20 南総文化ホール



杉村楚人冠(1872-1945)は、明治末期から昭和初期に活躍した朝日新聞記者です。日本で初めて新聞社に調査部や記事審査部を設けるなど、先進的な功績をのこしました。関東大震災で2人の子供を失ってから我孫子に住み、手賀沼の景観保護活動に取り組み、我孫子のまちづくりに尽力しました。

緑ゆたかな敷地に建つ杉村邸(我孫子市指定文化財)は遺族から寄贈され、我孫子市が修理復元をした後、昨年秋に記念館として一般公開されました。我孫子市は多くの文化人が暮らしたまちとして、文化を活かした地域活性化をすすめています。

一方、青木繁が《海の幸》を描いた館山市布良は美術界で聖地と呼ばれ、滞在した小谷家住宅(屋号:喜録)も館山市文化財に指定され、全国の美術家の皆さんが組織するNPO青木繁「海の幸」会では、修理費の募金活動をすすめています。修理復元後、青木繁《海の幸》記念館(仮称)の開館を目ざす私たちは、先進事例である杉村楚人冠記念館を見学し、今後の活動の参考にしたいと思います。

見学の後、となりの松戸市で聖徳大学生涯学習研究所に立ち寄り、まちづくり仕掛け人の福留強先生を囲んで女子大生とともに、文化財を活かした地域活性化について話し合います。

主催 :青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会 / 富崎地区コミュニティ委員会

事務局 :NPO法人安房文化遺産フォーラム TEL&FAX:0470-22-8271 awabunka@awa.or.jp

参加申込書

※申込みはFAXまたはEメールでおねがいします。

我孫子の歴史建物まちづくりバスツアー

名前 _____	電話 _____	住所 _____
バス乗車地 ()安房自然村バス停	()平砂浦ふれあいショップ	()南総文化ホールロータリー
名前 _____	電話 _____	住所 _____
バス乗車地 ()安房自然村バス停	()平砂浦ふれあいショップ	()南総文化ホールロータリー
名前 _____	電話 _____	住所 _____
バス乗車地 ()安房自然村バス停	()平砂浦ふれあいショップ	()南総文化ホールロータリー